

学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

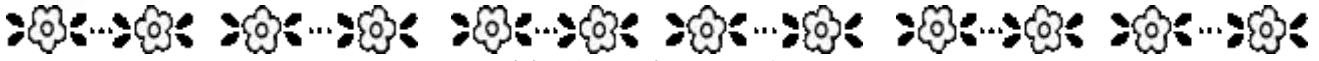
令和4年 10月 22日

横浜市立三ツ境小学校

学校長 遠山 松雄



三ツ境小だより 11月号



校歌に寄せる思い

校長 遠山 松雄

10月も下旬になり、紅葉のたよりも届くようになり秋らしい気候に落ち着いてきました。10月3日には緑遊会の方々の支援を受けながら、5年生が稲刈りを行いました。最初は慣れない手つきで鎌を持っていましたが、見よう見まねで何度か繰り返すうちに鎌の使い方も様になってきました。刈った稲は、地域の方にお借りしたパイプを使ってはぜ掛けをしています。前期半年間、稲のようにすくすくと成長した子ども達は、7日に前期終業式を迎えました。11日からスタートした後期には、各学年で校外学習や学習発表会等が予定されています。後期の活動を通して、さらに大きく成長した姿が見られることを楽しみにしています。今年は寒暖差の大きい日が多く、例年以上に体調管理に気を付けながら、授業や行事に取り組んでほしいと思います。

前期終業式では、それぞれの教室で校歌を歌いました。久しぶりに学校中に

♪ まぶしい太陽 さわやかな風 ああ ああ 見えるよ丹沢 ♪

と校歌の歌声が響き渡りました。それを聞いて頭に思い浮かんだのが、

♪ 朝日を浴びて ひらけゆく 広い野原に 根をはろう ♪



私の小学校のときの校歌の歌詞です。小学校のときに覚えた校歌、ところどころ記憶が曖昧なところがありますが、メロディは今でも覚えています。校歌を歌うことで、当時のことが断片的に思い出されます。中学校や高校時代の校歌も同様です。

平成18年からスタートした県立高校の現役生と卒業生と一緒にそれぞれの母校の校歌を歌う「青春かながわ校歌祭」という催しがあります。誘われて第1回から参加していました。高校時代には、ほとんど歌うことがなかった旧校歌と卒業後に歌われるようになった新校歌(混成四部合唱)の2曲を歌います。現役の高校生から80歳を超える卒業生まで、老若男女が一緒になって校歌を歌います。毎年母校の音楽室に集まり、数回練習を行い本番に臨みました。令和になってからは、台風やコロナの影響で中止になってしまいました。今年、校歌祭は開催されましたが、母校は不参加で4年続けて参加の機会がもてず残念です。母校での思い出はそれぞれ違っていても、わずか7分間舞台上で校歌を歌うことを通して、心がつながるその瞬間を味わうために、毎年参加してきました。

在学をしていたそれぞれの学校の校歌にいろいろな思い出があるのと同じように、30年を超える教員生活の中で在職をしていた学校の校歌には、その時々の子供・生徒とかかわった思い出があります。たかが校歌、されど校歌。同窓生や教え子とそれぞれの学校の校歌を歌いながら思い出を共有する時間がもてることは幸せだなと思います。そこに校歌の魅力を感じます。三ツ境小の児童も、卒業して何年か後に、学校の校歌を懐かしく思い出しながら口ずさむ日がやってくると思います。その思い出がふくらむように、日々の学校生活を過ごしてほしいと思います。さらに、校歌を通して様々な年代の三ツ境小学校の卒業生とつながりをもてたら素敵だなと思います。

11月号の発行日に当たる今日22日は、「三ツ境小防災の日」になります。2年目を迎えた今年は、三ツ境小学校地域防災拠点の秋季防災訓練と同時に実施をしました。地域の皆様や関係機関の方々に協力していただきながら学年ごとに防災学習を行いました。一部の内容については、秋季防災訓練に参加した方々にも見ていただきました。今後、次号の学校だよりや本校のホームページにて、その様子を紹介していきたいと思いますので、ご覧いただければ幸いです。

★11月1日より登校班での時間差登校の時間を一部変更します。ご確認ください。★

- イヌ・コアラ門 (変更なし)、ネコ門 8:05～8:15
- ペンギン門、パンダ門 8:10～8:15

※イヌ・コアラ門以外は、現行より5分ずつ早くなります。

☆お知らせとお願い☆

学習発表会

1年	11月1日(火)	4.5校時	体育館
2年	11月11日(金)	1.2校時	体育館
3年	11月15日(火)	2.3.4校時	体育館
4年	11月21日(月)	2.3.4校時	体育館
5年	12月16日(金)	3.4.5校時	体育館
6年	2月24日(金)	2.3.4校時	体育館
個別支援学級	1月31日(火)	5校時	体育館

専任 吉田より

学校内では、グループ活動をしたり、学年で一緒に活動をしたりする機会が増えてきました。また、学習で校外に出かける機会も多くなりました。感染症対策をとりながらも、どのような形であれば子どもたちにとって大切な経験を積ませてあげられるかと、日々様々なアイデアを出し合いながら、学習活動を計画してきました。今月号でお知らせしている子どもたちの活動の多くは、1年前では到底実施に踏み切ることができなかったものばかりです。

学校で大切にしたい活動のひとつとして「人とかかわりを通して学ぶ」ことが挙げられます。子どもたちは日々の学習の中で、人とかかわることで自分の考えがより広がったり、自分の考えがより深まったりする経験を積み重ねています。マスク生活の中、表情を読み取ることについては機会の確保が難しいですが、可能な範囲で人とかかわりを大切にしたい学習活動を計画し、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。

感染症対策がついて回る状況ではありますが、これまでの活動の意味を捉え直し、子どもたちにとって本当に必要なことは何なのかという視点で、新しい学びの在り方を探っていきたいと思います。学校ホームページでは、「校長室だより」にて、日々の子どもの様子を発信しています。ご家庭でお子様との話題づくりにご活用いただければと思います。